

# イルサルトの考える至高の礼服

ベールに包まれていたこのイルサルトスペシャルの礼服を全て



1

## 最もアタマを悩ませた “生地選び”

パーティで誰よりも引き立つ礼服を作るためにはよく使われるような生地は使えません。  
今回使用したこの“ミッドナイトブルー”という色はスポットライトが当たった時だけ黒よりも目立つ色なんです。またスーパードライという非常に繊細な生地、綾織という光沢の出やすい織り方の生地を使うことにより“誰よりも引き立つ礼服”を実現しました！  
又もうひとつ最後まで悩んだのがこの襟の太さ、これはシヨールカラーと呼ばれる形なのですが一般的な太さのものでは普通になってしまいますのでこの太さを若干細くそしてシルク生地を使うことにより“男性の色気”を印象付けています。



2

## いわゆる“タキシード” っぽくしたくない

イルサルトのスーツは一般的なスーツに比べて腕が細いのですがこれは腕の細くするとバスト周りが強調され身体がたくましく見える効果があるんです。これはタキシードでも同様この太さを採用しました。  
又肩のつけ方は“マニカカミーチャ”通称“シャツ袖”と呼ばれるタキシードではまず見られないつけ方をしています。スーツの命はこの肩のライン、この肩のつけ方をシャツ袖にすることで“タキシード臭さ”をなくしました。

大公開！

6

## 脚のラインを最も美しく みせるラインの出し方

パンツのラインは非常に重要！  
ジャケットがカンペキでもパンツのラインが美しくないと全て台無しです。  
今回のパンツはイルサルト通常のパンツよりも膝の幅を0.5センチ細くしより脚がスッキリ見えるラインに仕上げました！



8

7

## 伝統的な パンチエリーナ

今回のタキシードはとにかく全てに妥協をしなくなかったので見えない部分にも手を抜いていません。  
通常であればフラスナーで留める前立ての部分も伝統的なボタンフライ、又パンチエリーナと呼ばれるコルセットの役割を果たすものをつけています。  
これをつけることで下腹の納まりがしっくりくる上に腹の出っ張りを抑えられる隠し技になっています。

